

広報ましけ 1月号

2017 No.1283

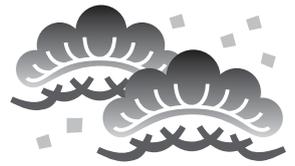


平成29年新年のごあいさつ..... 2~3 P

まちの話題（少年の主張大会ほか）..... 4~6 P

暑寒別岳スキー場~1月のお知らせ..... 7 P など

11月18日、健康一番館で開催された「親子遊びの広場」でもちつきが行われ、約20組の幼児とその保護者が、“よいしょ”のかけ声に合わせて元気に杵を振るいました。丸めたお餅は、いそべ餅やきな粉餅にしてみんなでおいしくいただきました。



つ さ い あ の ご



年頭所感

増毛町長

堀

雅志

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

町民の皆様には、町行政の推進に深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

昨年、相次いで道内に上陸した台風の被害もなく、大きな自然災害が無かったことに安堵しております。

昨年の漁業につきましても、不漁な魚種もありましたが、ホタテ

やタコ漁に支えられ、

前年同様の漁獲高となり、漁業者皆様のご努力に心より敬意を表します。今後におきましても資源増殖、漁場造成、担い手対策をしっかりと進めていかなければならないと考えております。

農業は、サクランボが豊作で秋の果物も好調、米も作況指数が108と全道有数の豊作であり、大変嬉しく思っております。

道営の農業基盤整備事業は、先行しておりますが、引き続き信砂地区に

朱文別、湯ノ沢、別荘地区の整備計画が採択となり本格的に事業が始まります。食味の良いい米と酒米づくり、果樹栽培と積極的に攻めの農業を展開していかなくてはならないと考えております。

さて、昨年の大きな事案は、増毛―留萌間のJRの廃線でありま

す。この路線を守ることができなかつたことに対し、町民の皆様にお詫びを申し上げます。観光には大きな影響

があると思っております。増毛町は、駅を中心に発展して参りましたので、今後とも駅や駅前通りを生かしたまちづくりを進め、増毛町の魅力をさらに高めていかなければならぬ

と考えております。今、増毛町は、明和園の改築、役場の耐震化、消防車両や防災無線の更新、様々な分野に及ぶ労働力不足、特

に少子化は、大きな課題であります。今年も婚活事業や子育て支援に力を入れて参ります。

今年度のふるさと納税は、昨年度比で少し落ちておりますが、町内各産業に与える影響は非常に大きいものがあると

考えております。増毛町に四季を通じた特産品があるおかげと感謝しております。町民の皆様には、積極的

にご親戚やご友人にご紹介していただきますよう、お願い申し上げます。国では、一億総活躍

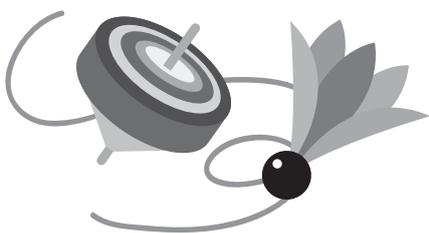
社会の実現を図っておりますが、昨年、発足した「生きがい活動事業団」の皆様

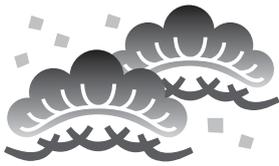
の活動を大いに期待しているところであります。増毛町は、高齢化率は高いものの町民の元気づくりと健康づくりを進めます。特に健康寿命を延ばすためには町民の皆様

自身の健康への取り組みが大切となります。

私は就任当初から「誰もが住みたい住み続けたいふるさと増毛」を基本理念に、町民福祉の向上と交流人口の拡大を目指し、町政を進めてまいりますので、町民各位のご協力、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、増毛町の限らない発展と町民の皆様のご健勝ご多幸をご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。





平成29年新年



年頭のご挨拶

増毛町議会議長

佐藤 善一

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、平素より議会へのご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2017年の幕開け、紛争やトラブルの無い、政治や経済の安定した年であってほしいと思いますが、何か大きな変化を予感させます。アメリカではトランプ新大統領が誕生し、過激で内向きな発言で、今後の政策や行動に不安が残ります。また、ヨーロッパでも経済不安や難民問題での現政

権への不満や不安で右翼政党が支持を広げ、政治や経済に不透明感を増し不安材料となつていきます。大きな変化のないことを望みたいと思います。

昨年の12月4日、95年間運行されてきた留萌・増毛間の鉄道が廃線になりました。

非常に残念なことです。私たちの世代にとつては「汽車」という響きは、見たことのない新しい世界に連れて行ってくれ、たくさんの思い出を作ってくれました。また、鉄道

は増毛の繁栄にも大きな役割を担ってくれました。道路事情があまり良くなかった当時は、町の大きな産品であったニシンの出荷や、物資や人を運ぶ手段として町の発展に大いに貢献してくれました。

しかしながら、自動車の普及と時代の変化により鉄道への依存度も低下しその役割を終えたと思います。その間の鉄道の果たした役割に感謝したいと思えます。廃線にあたって多くのマスコミがいろいろな形で増毛を取り上げ、道内はもちろん全国ネットで何度も放映されました。改めて廃線という事の大きな意味を教えられた気がしました。ただそれによつて増毛の知名度が上がったことは確かです。今後は廃線に伴つてJRが約束した駅前再開発の資金を財源に、どのように有効活

用し、町の発展につなげていくか知恵を出していかなければならないと思います。

今日、地方の市町村は少子高齢化、人口減少という共通の課題を抱えています。増毛町も例外ではなく簡単に答えは出ません。新たな企業誘致はなかなか難しい現実があり、今ある産業をしっかりと守ることが大事だと考えます。そしてそこに後継者が残るような魅力のある仕事になるよう支援をしていくことも必要だと思えます。町の基幹産業の中で特にホタテ漁業が好調で売上げを伸ばしています。オホーツクや噴火湾の台風被害の影響もあるのかもしれませんが、漁協や地域経済のリード役として更なる振興を期待したいと思えます。

また、農業においては水田の基盤整備事業

が全町の水田で始まり、水田農業の基盤強化に向け期待が高まっていますが、完了後の活用をしっかりと検討するよう関係者に期待をしたいと思います。

ふるさと納税も前年から見れば減ったとはいえ四億円以上の協力をしていただいています。今年度もいろいろな工夫をしてアピールし、多くの人の支援をしてもらえるよう担当者の頑張りを期待したいと思えます。

議会としては、議会改革を進め、町民皆様の声に常に耳を傾け、住民の目線で議論を進め、負託に応えてまいりたいと思えます。本年も町民の皆様にとつて幸多い年でありますようお願い申し上げます。

ましけマルシェ大感謝祭



11月20日、この日をもって今シーズンの営業を終えるましけマルシェの店舗では、日頃の感謝を込めて「ましけマルシェ大感謝祭」が行われ、多くの人で賑わいました。

11時からは具、たくさんで温かい鮭汁を無料提供。また、スタツフお手製の鮭いくら丼が300円で販売されると、すぐにご飯が無くなり一時的に販売をストップするほどの盛況ぶり。その他にも新ご当地グルメとして売り出しているタコザンギや山崎菓子店のケーキ、割引販売された水産加工品を買い求める多くの来店者で、シーズン最後の営業日は大盛況のうち幕を閉じました。

青年部共働隊が社協に寄付

11月28日、町商工会青年部（高畠鉄平部長）、増毛漁組青年部（林一了部長）、南るもい農協青年部（成澤貴部長）で今年からはじめて構成された増毛町青年部共働隊が、第45回増毛秋の味まつりで鮭の親子丼やあら汁などを販売した収益金の一部から、社会福祉のために使ってほしいと町社会福祉協議会（雨野正治会長）に現金を寄付しました。

雨野会長は「大変感謝いたします。やさしい町づくりに利用していきたい。」とお礼を述べました。



私が学んだこと、感じたこと

11月23日、平成28年度少年の主張大会「僕の主張・私の主張」が開催され、9名の小学生が体験を通して学んだこと感じたことを発表しました。

小学生の部で最優秀賞を受賞した島野友萌子さんは「障害を持つ人との響生と響存」と題して身近にいる障害を持つ人への理解と生き方を尊重することの大切さを発表。

「つながる楽しさ」という題で中学生の部で最優秀賞を受賞した直江海優さんは、経験と知識をつなげることで様々な物事を深く理解することができるかと語りました。発表者には会場から大きな拍手が送られました。

小学生の部で最優秀賞を受賞した増毛小6年の島野友萌子さん



中学生の部で最優秀賞を受賞した増毛中3年の直江海優さん

ボランティア年賀状書き



12月2日、増毛小学校児童による「ボランティア年賀状書き」が行われました。これは、町社会福祉協議会の「ふれあい郵便事業」の一貫で毎年行われており、増毛小の児童が増毛小学区内に住む75歳以上の高齢者宛てに、年賀状を送るという取り組みです。

全校児童がそれぞれ1〜2枚の年賀状を担当し、約250枚が対象の高齢者の方々に届きます。児童たちは、色鉛筆などを使って今年の干支の酉（鳥）の絵などを一生懸命に書き、あけましておめでとうに続いて、「長生きして下さい」などの言葉が添えられていました。

広報マンが行く!!

vol.21

平成28年12月4日、増毛の歴史が変わった日。広報マンは深川駅にいました。もちろん増毛行きの列車に乗るためです。満員になるであろう車内で、横幅で他の乗客に少しでも迷惑をかけないように昼食を抜いて留萌駅と増毛駅でセレモニーを行う予定の13:23発の列車に乗りました。深川駅から乗り込む乗客はそれほど多くなく、満席ではありましたが立っている乗客はまばらな状況。留萌駅まではゆったりと鉄路を楽しむことができました。

しかし、留萌駅に到着するやいなやとてつもない人数が山手線の通勤ラッシュのごとく車内になだれ込んできました。(写真上から2枚目)しかし、この状況は広報マンの予想通り。昼食抜きのおかげか華麗に車内を脱出して留萌駅に停めてあったマイカーで増毛駅に向かい、ホームに入場する列車を撮るためにカメラをスタンバイ。増毛駅も多数の町民、観光客、鉄道ファン、マスコミなどで大賑わい。



ホームで行われたセレモニーでは、留萌駅の大野駅長、増毛出身の平田運転士に、この日一日駅長を務めていたマーシーくんから花束が贈呈されました。そして最終便が到着する直前、駅前広場では記念のムービーが上映され(写真下から2枚目)、感極まって涙を流す人も。



最終便は、乗客等の整理などの影響でダイヤより約15分遅れて増毛駅に入場。ホームの周りには最後の勇姿を見届けようとたくさんの人々がホームを取り囲んでいました。また、最終便に乗ろうとホームに並んでいた乗客はゆうに200人を超え、搭乗が開始されると我先にと車内に消えていき、JR職員の方が乗客を押し込んで超満員状態の中、車両のドアがエアの音とともに閉まりました。甲高い汽笛が鳴り響き、暑寒ウィンドアンサンブルによる「蛍の光」の演奏がはじまると、大勢の見送り客がペンライトを振りはじめました。「ありがとう!」という叫びが次々と響く中、ゆっくりと最終列車が出発。車内へ手を振る人。ペンライトを高々とあげて感謝の

意を示す人。たくさん蛍の光を背に、車両は次の駅を目指して、この日まで確かにつながっていたレールの先に消えていきました。

廃線報道から約1年半、たくさん観光客や鉄道ファンが増毛町を訪れました。また、“最後の日”が近づくとつれて新聞やテレビなどの様々なメディアに取り上げられ、“鉄道が無くなるかわいそうな田舎まち”として「増毛」が全道、いや全国レベルで知れ渡ることとなりました。鉄道が無くなり観光客が減るから増毛町は今“ピンチ”なのでしょうか。「鉄道が町からなくなっていくがですか?」とのインタビュアーの質問に対して、多くの人が「寂しいです。悲しいです。」と答えていました。95年にも渡って増毛町を支えてきた鉄道が無くなることは、それはやっぱり悲しいです。寂しいです。しかし、鉄道は無くなっても、増毛町はこのままいつまでも有り続けるのです。このままかわいそうな田舎町として有り続けるか、それともこれをひとつのきっかけとして次の一手を進めるか。ネガティブな報道がかもしれませんが「増毛」という単語がたくさんの人に知れ渡ったのは事実です。今はまぎれもなくチャンスなのです。増毛はいざ、次のステージへ!





マーシーの年金相談



20歳になったら国民年金加入の手続きをしましょう

新成人のみなさん、おめでとうございます。国民年金は、年をとった時、いざという時の生活を現役世代みんなで支えようという考えで作られた制度です。自分の未来のため、必ず加入しましょう。

◆国民年金制度のポイント

○将来の大きな支えになります。

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納めます。国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

○老後のためだけのものではありません。

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか障害年金や遺族年金もあります。障害年金は病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者に生計を維持されていた遺族（「子もある配偶者」や「子」）が受け取れます。

◆「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」について

○「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

○「若年者納付猶予制度」

学生でない30歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

これらの手続きは役場窓口で行うことができます。また、年金についてのご相談等もお気軽に右記連絡先までお問合せください。



問い合わせ

留萌年金事務所 43-7211
役場保険年金係 53-1113

ガソリン携行缶を安全・安心に使う

5つのポイント！

これからの季節、除雪機等でガソリンを使用するご家庭もあるのではないのでしょうか？ 今月は、私たちの生活にとってなくてはならないガソリンの取り扱いについて紹介します。ちょっとした不注意で思わぬ事故を引き起こす危険性がありますので、適切な保管方法と取扱いについて次の事項を確認しましょう。

Point 1 ガソリンの危険性について

ガソリンは気温がマイナス40℃でも気化し、小さな火源でも引火し、爆発的に燃焼する物質です。

Point 2 ガソリンを入れる容器について

ガソリンを入れる容器は、消防法令により一定の強度ある材質を使用すること、容量が制限されています。特に灯油用ポリエチレン容器にガソリンを入れることは非常に危険ですのでやめましょう。



Point 3 ガソリンの購入について

ガソリンの購入は、消防法令の基準に適合した容器でガソリンスタンドにて購入してください。（セルフスタンドでは利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません。）



Point 4 ガソリンの保管について

ガソリンは揮発性が極めて高く、火災が発生すると爆発的に広がるので、ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください。

Point 5 ガソリン携行缶の取り扱いについて

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等、注入口からの漏れによる危険物の漏えい事故の報告がありますので、使用時には取り扱い説明書をよく読み、適正な取り扱いをしてください。

【増毛町消防本部 予防課 53-2175】

暑寒別岳スキー場 《1月のお知らせ》

SHOKANBETSUDAKE SKIING GROUND

infomation

◆営業時間

月～土曜日 10:00～17:00

日曜日・祝日 9:30～17:00

ナイター（金曜・土曜）

17:00～21:00

※ナイターの営業開始は、1月6日(金)からです。

※大雪日の12月31日の営業は午後3時までです。

topics

◆スタンプ2倍サービスデー

期間：1月1日～3日

1,000円以上のリフト券購入者(シーズン券・30日券を除く)に押すスタンプが2倍のサービスデーです。10個たまると1日券と交換できます。

◆お客様感謝デー

日時：1月9日(月・成人の日)

リフト1日乗り放題 1,000円!



平成28年度 スキーバス運行表

〈運行期間 1月2日から2月26日までの計18日間〉

	スキー場行き				帰 り		
	留萌合同 庁舎発	旧阿分小前 バス停発	舎熊郵便局 前バス停発	増毛町文化 センター発	スキー場着	スキー場発	留萌合同 庁舎着
1月2日～ 2月26日までの ・土曜日 ・日曜日 ・祝日 (1/2、1/9)	午前 9:30	午前 9:45	午前 9:50	午前 10:00	午前 10:15	午後 4:30	午後 5:15

【注意事項】

※今年度のスキーバスの運行は、1月2日～2月26日までの土曜・日曜・祝日の18日間です。

※往路は午前便、復路は夕方の便のそれぞれ一便ずつです。

※①冬休み期間中の平日運行 及び ②ナイター営業に合わせた運行は、中止させていただきますのでご了承ください。

※今年度より「増毛駅」には停車いたしませんのでご了承ください。

※12月及び3月1日以降の運行はありません。

問い合わせ先 増毛町暑寒別岳スキー場

TEL: 0164(53)3002

募集

あつぷる保育所入所
児童を募集します

平成29年4月からの「あつぷる保育所」入所児童を募集しますので、次の「保育の必要性の基準」をご覧の上、希望される方は必要書類を提出願います。

■保育の必要性の基準

- ① 就学前の児童のうち、その保護者のいづれもが次の事由に該当するため、児童を保育することができないうち、
- ② 保護者が1日4時間以上かつ、月12日以上就労することが常態の場合
- ③ 保護者が妊娠又は出産後で間もない場合
- ④ 保護者が疾病、負傷又は障がい有している場合
- ⑤ 保護者が常時、親族の介護・看護をしている場合
- ⑥ 保護者が災害復旧にあたる場合
- ⑦ 保護者が求職活動を継続的にしている場合

- ⑦ 保護者が就学中又は職業訓練中である場合
- ⑧ その他の理由で希望する場合（要相談）

■申込方法

入所申込書、稼働証明書などの必要書類を健康一番館又はあつぷる保育所に提出願います。

■募集締切 1月27日（金）

■保育料

前年及び前々年の住民税所得割額等により保育料が決定されますので、増毛町HPの「増毛町例規類集」第8類厚生↓第1章社会福祉↓増毛町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する規則」を参考としてご覧いただくか、福祉厚生課民生係までお問い合わせください。なお、この規則に記載の保育料は平成28年度分で、平成29年度については変更となる場合があります。

■その他

① 今回の募集は平成29年4月入所を希望する方が締切日までにお申込みください。

さい。但し定員を超える申込みがあった場合は、増毛町保育の必要性の認定に関する条例に基づき入所決定することがありますのでご了承願います。

② 3月に入所説明会を行う予定です。入所予定者には、後日、開催日時をご連絡いたしますので、必ずご出席ください。

③ 年度途中の入所申込は随時受け付けていますが都合により入所までに時間を要する場合があります。

園福祉厚生課・民生係
（電話 5313111）

増毛幼稚園入園児を募集します

平成29年4月からの増毛幼稚園入園児を次のとおり募集します。

■保育時間

月曜日～金曜日
9時00分～13時00分
（祝日、春・夏・冬休みは除く）

■募集人員

満4歳児・5歳児（平成

23年4月2日生まれ～平成25年4月1日生まれ）

■保育料

下記の表の通りです。

■預かり保育

正規の保育時間終了後、引き続き保育を希望する在園児を対象として預かり保育を行います。預かり時間は、原則月曜日から木曜日までの13時00分から15時30分です。（幼稚園が休みのときは実施しません。また、教職員研修などにより実施できない日もあります。）

■預かり保育料

月額200円（予定）

※平成29年度予定。おやつ代は別途かかります。

■願書提出先

願書の配布場所及び提出場所は次のとおりです。
増毛幼稚園（電話5311022）

・教育委員会総務学校課・学校教育係（電話5312427）

※1月27日（金）までに願書を提出願います。

■その他

保育料表（平成28年4月1日より所得の階層及び多子軽減による保育料区分としております。）

階層区分	月額保育料		
	第1子	第2子	第3子以降
①生活保護世帯（国の制度）	0円	0円	0円
②道町民税所得割非課税世帯（国の制度）	3,000円	1,500円	0円
③②のうち、ひとり親世帯・在宅障害児のいる世帯（国の制度）	0円	0円	0円
④道町民税所得割課税世帯（町独自施策）	6,300円	3,150円	0円

※町内の幼稚園・保育所に子どもが2人以上在籍している世帯は、第2子以降無料（町独自施策）

①園児の昼食はお弁当になりますので、各自持たせてください。

②入園を希望される方には、後日ご案内しますが、2月7日(火)、幼稚園において一日入園及び説明会を予定しています。

③町税などを滞納し、納税に誠実性を欠く世帯の児童については、町条例により入園を認めません。
園 教育委員会総務学校課・学校教育係(電話 53-2427)

町立明和園臨時職員(栄養士)

■募集人員

管理栄養士又は栄養士 1名

■応募資格 年齢20歳以上
 《栄養士免許所持者》

■勤務時間

8時45分～17時15分
 (土・日・祝祭日は休み)

■賃金

月額144,900円から
 ※所持資格・経験年数を考慮

■手当 各種手当有り
 ■その他 健康保険・年金等に参加

■採用期日

平成29年4月1日

※状況によっては期日前での採用も有り

■第一次申込締切

平成29年1月20日

※未決定の場合は継続募集

【申込方法】

採用決定まで随時受付。
 履歴書に有資格者は証明書の写しを添えて、明和園に提出願います。(郵送可)

園 町立明和園

(電話 53-11601)

お知らせ

ワックスキャンドルづくり体験会に参加しませんか

冬の生活を楽しみ、活動的に過ごすことを目的に、オロロン・スノーパラダイス・プロジェクトでは、次の通り体験会を開催します

ので、みなさんのご参加をお待ちしております。

■日時

1月14日(土)10時～13時

■参加料 無料

■場所

留萌合同庁舎(留萌市住之江町2丁目) 1階道民ホール

参加された方には、製作したワックスキャンドル1本をプレゼントします!

屋外での作業がありますので、防寒着等暖かい格好でお越しください。

園 オロロン・スノーパラダイスプロジェクト事務局

(留萌振興局地域政策課 電話 42-8421)

オロロン・スノーパラダイス2017を開催します

留萌地域の冬を楽しむためのイベント「オロロン・スノーパラダイス2017」を開催します。雪の迷路やアトラクション、キャンドルナイトやけ

あらしの里など、楽しい催しが盛りだくさん!多くの方のご来場をお待ちしております。

■日時

2月4日(土)、5日(日)

■場所

留萌合同庁舎(留萌市住之江町2丁目)

■参加料 無料(二部有料)

■内容

☆雪のわくわく迷路
 ☆けあらしの里

☆キャンドルナイト(光のファンタジー) など
 ※イベントの詳細につきましては、留萌振興局のHPをご覧ください。

※当日の天候によってはイベントが中止になる場合があります。

園 オロロン・スノーパラダイスプロジェクト事務局

(留萌振興局地域政策課 電話 42-8421)

日曜当番医

(留萌市)

【1月15日】
 西原 賢 泌尿器科
 クリニック
 (花園町1丁目 電話 56-11678)

新着本案内

トコトんやさしい無線通信の本

無線通信とは、電波を使って情報を送る手段です。テレビやラジオにも利用され、私達の生活とは切っても切れない関係です。電波やアンテナ緊急災害時の通信などが、やさしく解説されています。

若井 一顕 著



もうぬげない

ヨシタケ シンスケ 著

僕の服が、ひっかかって脱げなくなつて、もうどのくらいたつたのかしら?お母さんが「おふろに入ろう」なんて言うから、いけないんだ。急いで脱がそうとするから、ひっかかっちゃつたんだ。



園 総合交流促進施設元陣屋 (電話 53-3522)

障害者控除対象者認定書の交付について

◎障害者控除について

高齢者については、所得税法施行令、地方税法施行令の規定により、身体障害者手帳の交付を受けている者などのほか、身体障害者に準ずる者などとして市町村の認定を受けている者が障害者控除の対象とされています。（所得税及び住民税の課税所得の計算に当たって所得金額から一定額を控除。）

申請により障害者に準ずると認

定した場合、「障害者控除対象者認定書」を交付します。

◎「障害者控除対象者認定書」認定の対象者及び認定基準

次のいずれにも該当する方で、認定基準を満たす場合に対象となります。

- ・満65歳以上の方（確定申告や年末調整する年の12月31日現在）
- ・寝たきり又は認知症の方
- ・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付及び知的障害

の認定を受けていない方
本人又はその扶養者が所得税控除などの対象となる方

■申請受付期間

随時受け付けています。

■申請受付場所

福祉厚生課民生係（健康一番館内）

■申請に必要なもの

申請者及び認定対象者の印鑑
※認定要件が確認できない場合は、状況に応じて必要な書類の提出を求める場合があります。

■福祉厚生課・民生係

（電話 53-3111）

認定基準表

区分	認定要件	控除額 (1人あたり)	
		所得税	住民税
障害者	知的障害者 (軽度・中度)に 準ずるもの	27 万円	26 万円
	身体障害者 (3級～6級)に 準ずるもの		
特別 障害者	知的障害者 (重度)に 準ずるもの	40 万円	30 万円
	身体障害者 (1・2級)に 準ずるもの		
	ねたきり高齢者		

- ※1 居住者の控除対象配偶者又は扶養親族が同居特別障害者である場合は、所得税は35万円、住民税は23万円の控除額が加算されます。
- ※2 介護度のみで一律に判定するものではありません。
- ※3 認定要件にある「認知症度」とは、痴呆性老人の日常自立度判定基準（平成5年厚生省老人保健福祉局長通知）のことをいいます。
- ※4 一定要件にある「寝たきり度」とは、障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準（平成3年厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知）のことをいいます。
- ※5 認定書は、平成27年分所得税及び平成28年度住民税の申告に適用されます。
- ※6 介護保険の要介護度認定を受けている場合は、認定対象者の要介護度認定情報を参考にしますので本人の同意が必要になります。

◆◆◆ 日本脳炎の予防接種について ◆◆◆

北海道内において、日本脳炎はこれまでに40年以上患者発生はなく、感染を媒介する蚊（コガタアカイエカ）も生息していないため、日本脳炎の定期予防接種を行っていませんでした。

しかし、道民が日本脳炎の発生している道外や海外に行き来する機会が増えており、日本脳炎に感染する機会も多くなる可能性があることから、平成28年4月より、定期予防接種が開始となっています。対象となる方（3歳の誕生日から、20歳の誕生日前日までの増毛町民）には平成28年3月に個別でお知らせしていますが、接種を希望する方は保健指導係までご連絡下さい。

接種医療機関	接種日・時間	予 約
増毛町立増毛診療所	平成29年 1月31日(火)、2月28日(火)、3月28日(火) (受付時間 15:30～16:00)	接種日の1週間前までに保健指導係へご連絡下さい
留萌市内の医療機関等	医療機関によって接種日等が異なります	予約は各医療機関に各自でしますが、予診票をお渡ししますので、保健指導係へご連絡下さい

福祉厚生課・保健指導係（電話 53-3111）



平成29年 全町書き初め大会

- ◆開催日時 平成29年1月11日(水)
10時00分～12時00分
- ◆開催場所 増毛町立体育館
- ◆参加申込 当日受付(参加費無料)
- ◆持参する物 筆、下敷、硯、文鎮、上靴、
その他必要な物
- ◆主催者が用意する物 画仙紙、墨、
墨入れ(灰皿)、新聞紙

- ◆審査 作品提出後に審査します。学年別に金賞、銀賞、銅賞、努力賞を決めます。
- ◆展示 1月11日(水)13時から20日(金)9時まで文化センター・ロビーで展示します。
- ◆表彰・返却 作品及び記念品は後日学校経由で返却します。

◆課題

未就学児から中学3年生までは、次の通り課題を定めます。なお、高校生以上の方については、特に課題を定めませんので、自由な発想で好きな言葉を書いて下さい。

- 未就学児「みかん」
- 小学4年生「大地の子」
- 中学1年生「冬の星座」
- 小学1年生「げんき」
- 小学5年生「雪の地平」
- 中学2年生「郷土の歴史」
- 小学2年生「なかよし」
- 小学6年生「自然の声」
- 中学3年生「原生林の冬」
- 小学3年生「雪だより」

☒ 増毛町文化協会事務局(教育委員会内) 担当: 工藤(電話53-2427)

町税の納期について

国民健康保険税(第7期) 1月31日(火)

☒ 税務課・税務係(電話 53-1114)

北海道小平高等養護学校

◆◆◆ 産業科留萌販売会 ◆◆◆

小平高等養護学校産業科の生徒が作業学習の時間に製作した窯業製品の販売会を開催します! 箸置きや大皿、小鉢など、生徒一人ひとりが心を込めて製作した製品を販売しますので皆様のお越しを心からお待ちしております。

日時: 平成29年2月7日(火) 11:00～13:30

※荒天の場合8日(水)に延期

場所: コープさっぽろ留萌店
(留萌市野本町1番地1)

☒ 北海道小平高等養護学校

電話 0164-57-1203(担当:古郡(ふるごおり))

■ご厚志ありがとうございます■

◆各自治会等へ(現金) (受付順)

- 香典の一部から
- ・工藤ハル子さん(別荘) 39区自治会へ
- ・伊藤 和子さん(弁天町) 47-1自治会へ

◆増毛町社会福祉協議会へ(現金)

○社会福祉に

・増毛町役場親和会

・高橋菓子舗 齋藤秀夫さん

○ふれあい広場参加謝礼として

・茶道表千家荒木社中(荒木宗香代表)

・絵手紙サークル(石村美智子代表)

・増毛町地域女性団体連絡会(佐伯美代子代表)

◆町内の各小中学校・幼稚園へ(寄贈)

○ぞうきん(144枚)

・南るもい農業協同組合女性部増毛支部

(山口加代子支部長)

【2月号への掲載希望 1月19日(木)まで】

☒ 町民課・町民環境係(電話 53-1111・2)

平成29年 消防出初式

- 開催日時 1月5日(木) 13時00分～
- 開催場所 文化センター
- その他

- ・出初式のため、13時00分に30秒のサイレンを吹鳴します。
- ・当日、文化センター前の駐車場も会場として使用するため、駐車をご遠慮願います。

☒ 増毛町消防本部(電話53-2175)



健康・暮らし・環境カレンダー

12/26(月)	●広報ましけ1月号発行 ●町民健康相談 9:00~11:30 健康一番館 生 粗大	17(火)	●ヒブ・小児肺炎球菌予防接種 13:30~14:00 市街診療所 可燃
27(火)	●定例行政相談所開設 10:00~12:00 文化センター 可燃 資源1	18(水)	ペット プラ
28(水)	ペット プラ	19(木)	●どろんこクラブ 10:00~11:30 健康一番館 ●マタニティスクール(生活・安産編) 13:15~15:00 留萌市立病院 ●元気づくり教室 13:30~15:15 老人福祉センター 生 金属危険
29(木)	●どろんこクラブ 10:00~11:30 健康一番館 生	20(金)	粗大ごみ申込受付最終日 不燃 か・び
30(金)	役場御用納め 不燃 か・び	21(土)	●乳児・1歳6ヶ月児・3歳児健診(個別通知) 健康一番館 ●おはなしポトフセレクション 13:30~ 元陣屋
31(土)		22(日)	●こどもシアター 13:30~ 元陣屋
1/1(日)	初元	23(月)	生 粗大
2(月)	初振替休日	24(火)	●定例行政相談所開設 10:00~12:00 文化センター ●BCG・麻しん風しん・水痘予防接種 13:30~14:00 市街診療所 可燃 資源1
3(火)		25(水)	ペット プラ
4(水)	ペット プラ	26(木)	●乳幼児相談 9:30~11:30 健康一番館 ●ベビーマッサージ教室 10:00~11:00 健康一番館 生 資源2
5(木)	●消防出初式 13:00~ 文化センター 生	27(金)	●親子遊びの広場(雪遊び) 9:30~11:00 あっぶる保育所 不燃 か・び
6(金)	役場御用始め ●増毛町新年交礼会 15:00~ オーベルジュましけ 不燃 か・び	28(土)	
7(土)		29(日)	
8(日)	●増毛町成人式 14:00~ 文化センター	30(月)	生
9(月)	初成人の日 生	31(火)	●マタニティスクール(食事編) 10:30~13:00 留萌市保健福祉センターはーとふる ●日本脳炎予防接種 15:30~16:00 市街診療所 可燃
10(火)	●四種混合・B型肝炎予防接種 13:30~14:00 市街診療所 ●こころの健康相談 15:00~17:00 留萌保健所または羽幌町保健センター 可燃 資源1	2/1(水)	ペット プラ
11(水)	●全町書き初め大会 10:00~ 町立体育館 ペット プラ	2(木)	●親子遊びの広場(豆まき) 9:30~11:00 健康一番館 生
12(木)	●どろんこクラブ 10:00~11:30 健康一番館 ●なかよしクラブ 10:00~12:30 健康一番館 生 資源2	3(金)	不燃 か・び
13(金)	●献血車「ひまわり号」 10:30~16:00 町内巡回 不燃 か・び	4(土)	
14(土)		5(日)	●マタニティスクール(育児編) 10:00~12:00 留萌市保健福祉センターはーとふる
15(日)		6(月)	●広報ましけ2月号発行 生
16(月)	生 木	7(火)	可燃

家庭ごみの収集日について

マの 見方	生 生ごみ	可燃 可燃系埋立ごみ	不燃 不燃系埋立ごみ	プラ プラ製容器	ペット ペットボトル
	か・び かん、びん	木 木くず	金属・危険 金属類、危険ごみ	粗大 粗大ごみ	
	資源1 紙製容器、雑がみ、白色トレイ、発泡スチロール	資源2 新聞・チラシ類、雑誌、ダンボール、紙パック			

粗大ごみの収集について(毎月第4月曜日) 留萌南部衛生組合(電話43-2555・43-2588)

- ① 1回の収集につき5点までしか出すことができません。粗大ごみ収集の申込は9:00~17:00(受付最終日は15:00)までに、留萌南部衛生組合(電話43-2555・43-2588)に電話申込してください。その際にステーション番号を忘れずに伝えてください。
※「ごみ分別ハンドブック」では、申込は2日前の15:00までとなっていますが、増毛町の場合は、3日前(休日の場合、その前日)の15:00までとなります。
- ② ごみ袋販売店にて粗大ごみ処理券を購入し、当該粗大ごみに貼り付け、収集日の9:00までにごみステーション横又は自宅前に出してください。